

平成29年度 1歳児組年間指導計画

教育長	課長	専門員	事務長	園長	副園長	栄養士	担当	合議
-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	----

年間目標	・安心できる保育教諭と信頼関係を築く。・自分で身の回りの事をしようとする気持ちが芽生える。								
期	1期(4・5月)		2期(6～8月)		3期(9～12月)		4期(1～3月)		
子どもの姿	○周りのことを意識し始める ○喜怒哀楽が芽生えてくる ○指さしや片言で想いを伝えようとする ○興味のあるところに自分から行って触れたり試したり、探索活動を盛んにする。				○意味のある言葉を使うようになる。 ○身近な大人が興味の対象となる。 ○手先を使った遊びが盛んになる。 ○友達に刺激されながら身の回りの始末を自分でしようとする。				
ねらい	○保育教諭との信頼関係を築き、こども園生活に少しずつ慣れ、安心して生活する。 ○自分の気持ちを表し、保育教諭に見守られながら好きな遊びを楽しむ。		○好きな遊びを見つけ、保育教諭と一緒に遊んだり、一人遊びを楽しむ。 ○水、砂、土などに触れ、手指や全身を使って楽しむ。 ○外遊びでは、花や虫等を通して、自然を感じる。 ○食事の時のあいさつをわかり、保育教諭を見て真似しようとする。		○身の回りの事に興味を持つ。 ○いろいろな遊びを通して、歩く、走る、転がる等、全身を使った遊びを十分に楽しむ。 ○周囲に興味を示し、戸外遊びを楽しむ。 ○歩いて中央公園、ふれあい公園に散歩に行く。		○簡単な身の回りの事を自分でしようとする。 ○保育教諭や友達と一緒にリズム遊びをする。 ○絵本や紙芝居等、くり返し楽しみながら言葉を育んでいく。 ○身近な大人の言葉がわかり、意味のある言葉を3・4語くらい話す。 ○繰り返しの簡単な見立て遊びを楽しむ。 ○冬の自然に触れて体を動かし楽しむ。		
保育内容	養護	○子どもの気持ちを受容し、情緒の安定を図る。 ・一人ひとりの発達や生活リズムに合った対応で、伸び伸びとした環境作りを心掛ける。 ・家庭との連携を取り合い、個々の発達や生活リズムを把握した上での保育を行う。		○1日の生活リズムが少しずつ分かり、安定して過ごす。 ・心にゆとりを持ち、欲求を満たしていく。 ○楽しくゆったりとした雰囲気の中で、保育教諭に援助されながら食事をする。 ・個々の欲求を満たし楽しく食事が出来るようにする。		○食事・排泄・簡単な身の回りの事などを自分でしようとする。 ・身の回りのことをする意欲の芽生えを大切にしながら援助していく。		○身の回りの事を自分でしようとする意欲を大切にし、出来た喜びや達成感を共感しながら、自信に繋げていく。 ・出来た喜びや達成感を共感し、意欲に繋げていく。	
	健康	○体幹を鍛える遊びを楽しめる雰囲気で行う。 ・室内では板のぼりやトンネルくぐりを楽しむ。 ○散歩時は体を動かして遊ぶ。 ・発達に合わせて、保育教諭と手を繋ぎ歩く。 ○保育教諭と一緒に遊び、信頼関係を築き、安心して過ごす。 ・保育教諭に見守られながら、周囲に興味を持ち過ごす。 ○保育教諭の言葉の語尾を真似たり、好きな遊びを見つけて過ごしたりする。 ・発語に反応し、発語を楽しめる様に関わる。 ○歌や音楽に合わせて体を動かして楽しむ。 ・わらべ歌遊びを口ずさみながら、歌に合わせて体を一緒に動かしていく。 ○製作（季節を感じるような製作物） ・色々な素材に触れ感触を楽しむ。		○外遊びの中で自然を感じながら、太陽の光をたくさん浴びて健康を促進する。 ・歩く距離を伸ばしたり、階段の昇り降りを行い、基本運動を身につけていく。 ・水に沢山触れて楽しんだり、低い山を登ったり芝生の上で走ったり転んだり、身体全体を使って遊ぶ。 ○友達との関わりの中でケンカも増える。 ・癪癪をおこしたり、反抗、自己主張するようになる。 ○好きな遊びを夢中になって行えるような環境構成を工夫する。 ・水、砂、土等、手触りや性質を知り、興味を持って体験していく。 ○親しい大人に自分の気持ちを伝えようとする。 ・要求語をはなすようになる。		○動きも活発になり、体を沢山動かす遊びを楽しみながら、体幹を鍛える。 ・探索活動を楽しみながら、登る、降りる、くぐる、走る等の全身を使う運動や、転がす、投げる、つかむ等の手や指を使う遊びも取り入れていく。 ○尿意を伝えて、トイレに行き、排泄しようとする。 ・自分から尿意を知らせ、トイレで排せつしようとする。 ○保育教諭や友達と見立て遊びを楽しむ。 ・身近な人を模倣して、楽しむ。 ○簡単な言葉のやりとりを楽しむ。 ・自分の気持ちを安心して表す事が出来るように受け止める。 ○リズム遊びを楽しむ。 ・保育教諭と一緒に、リズムの曲に合わせて身体を動かす		○友達との関わりも増え、一緒に遊ぶ楽しさも感じていく。 ・気の合う友達と一緒に関わりながら、遊びを楽しむ。 ○冬の自然に触れ、戸外での遊びを喜ぶ。 ・雪や氷などに触れ、冬ならではの遊びを楽しむ。 ○言葉のやり取りを楽しむ。 ・保育教諭や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 ○保育教諭の動きを真似てリズムを楽しむ。 ・リズム遊びを保育教諭や友達と一緒に楽しむ。	
	人間関係								
	環境言葉表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>(歌) チューリップ</li> <li>(手遊び) アンパンマン</li> <li>(わらべ歌遊び) いないいないいばあ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>(歌) かたつむり</li> <li>(手遊び) グーチョキパー</li> <li>(わらべ歌遊び) じかいてぼん</li> <li>かえるのうた</li> <li>いちりにさんり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>(歌) どんぐりころころ・とんぼ</li> <li>(わらべ歌遊び) うえからしたから</li> <li>いもむしころころ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>(歌) ゆき・豆まき</li> <li>(わらべ歌遊び) おうちのどてかぼちゃ</li> <li>どっちゃんかっちゃんかじやのこ</li> </ul>	
環境配慮	・散歩時等も個々の発達ペースに応じた対応をし、無理なく行っていく。 ・危険がないか十分に目を配り、子どもの動きを把握すると同時に、動き予想して安全に遊べるようにする。 ・一人ひとりの食事の進み具合に合わせてグループに分かれ、落ち着いて食事をする。 ・4つのグループに分かれ、行動をする。		・沢山運動した後はしっかりと水分補給や休息、睡眠をして快適に過ごせられる様にする。 ・水への恐怖心無くし、色々な遊びを展開して工夫する事で楽しさを味わえる様にする。 ・食事の時に「いただきます」や「ごちそうさま」を保育教諭がはっきり言う事で食事のあいさつを伝えていく。		・身の回りの事をやってみようとする意欲を認め、見守りながらも、その時に応じた援助をしていく。 ・保育教諭自身、感情を大袈裟に表現し、子どもと共に共感できる様な環境作りを配慮していく。 ・友達との関わりを増やしていける様に、同じ遊びを共有したり、同じ場所で共有して友達存在を自然と感じられる様にする。		・身の回りの事を自分でやってみようとする中で、出来ない事に対しては葛藤しながらも、諦めない心を少しずつ育てていく。 ・友達との遊びの中で「かして」「いいよ」等のやり取りも少しずつ出来るようになると同時に、トラブルに対しては、いけない事はしっかりと目を見て注意して伝えていく。 ・子どもに分かりやすい言葉や表現方法を考慮しながら、言葉を発する楽しさを共感していく。 ・リズムにのれない子は、少しずつ体を動かす事を楽しめる様に一緒にいながら、意欲に繋がる言葉掛けをしていく。		
行事	入園式、クラス懇談会、児童健康診断		春の遠足、保育参観、人形劇鑑賞、運動会合同練習		運動会、秋の遠足、クラス別懇談会、児童健康診断、発表会合同練習、発表会、もちつき会		保育参観、修了記念写真撮影、節分の集い、クラス別懇談会、お別れ会、修業式		